

Tコレでこれだけ 人を集めておいて 出路×金正 珍しい名前タッグ 次は何を？

いまだに衰えることを知らない、真夏のkyoto METROの風物詩、SPINNS T-SHIRTS PARTY。一夜にして600人を動員するこのパワーの源に、二人の男がいる。SPINNSを抱える(株)ヒューマンフォーラム社長・出路雅明(みち まさあき)氏と、プロデュース業15年・金正邦宏(きんしょう くにひろ)氏。この珍しいお名前の二人ともゴツイ肢体とヒゲモジャ顔、一見、強面ではある。が、京都の夜ではしばしば見かけるこの姿。アチコチでやたらかけられる声に、もれなく反応する男臭さと人間味が、人と人を結びつけてきたことは事実である。

Tコレのはじまりは、出路氏の「金正さん、おもしろいことやりましょうや」の一言だった。それは1996年、当時両氏ともに30才、喫茶店での出会いから。ありがちな誘いではあったものの、「今までにないことせんと」「若い奴を引っ張らんと」「俺らにしかできへんことせんと」云々…で、金正氏はSPINNSのコンセプトとTコレを捻り出し、生み出した。Tシャツをキャンバスに、若手アーティストが描く音楽×アート。誰コレ?なんて言わせないインディーズ的アプローチに時代は飢えていた。ファッション×音楽×アート、この3つを結びつけることを可能にした両氏の人間性に、今更ながら感服する。

今宵は同一イベントも9回目。相変わらずの動員数。アーティストも、ライブも、オーディエンスも、異様なまでにヒートアップした真夏の夜。だが、両氏の顔に決して満足の表情は浮かんでいなかったのは、偶然ではないだろう。その目に映っていたのが、Tシャツを着たかわいいた女の顔ではなく、次なる10回目の展開だったからだ。「Tコレも飽きてきたしね、そろそろ新しいことせなね」。ゆるりとしたetwでおもむろにつぶやいた一言に、我々は期待せずにはられない。「プレッシャー!?! まったくないね」。笑顔とともに語った出路氏の言葉、妙に印象的である。



A

Watching Carefully

取材・文/トライアウト 撮影/中島光行



SPINNS T-SHIRTS PARTY 2004
@kyoto METRO × etw

B



京と伊を調和させる
オリジナルキュービーンズ



炭火で味わう
川床唯一のグルメショー



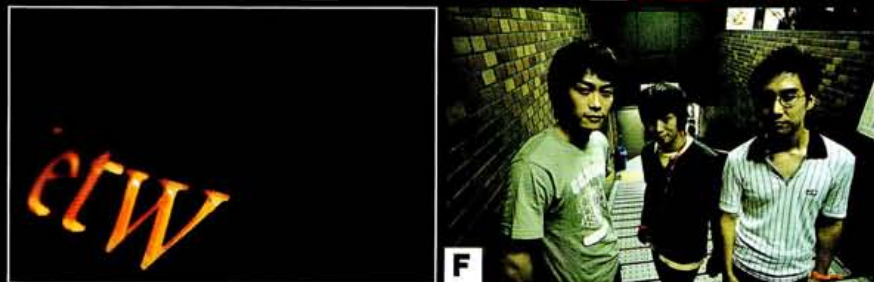
厳選した上質の素材は塩だけでシンプルに焼き上げればよい。そこに日本の炭火と、京の川床を組み合わせた至極の妙。それは「京のイタリアンテイスト」で客をもてなすクワトロ・セゾンの真骨頂。川床という舞台の上、海外修業経験を持つシェフ自らが炭火を用い、客の目の前でメイングリルをサーブする…。クワトロ・セゾンの川床はまだこれからが本番。

クワトロ・セゾン QUATRE SAISONS

京都市中京区先斗町通四条上ル
(五軒目東側)
TEL/075-213-3582

Lunch 12:00-14:30 (LO)
Dinner 18:00-23:00
(LO/21:30)

※川床は9月末日まで営業
月曜休 (日曜が祝祭日の場合は営業、翌火曜休)
<http://www.h7.dion.ne.jp/~quatre>



A. METROから逃れてきた金正氏と出路氏がetwで一緒に休憩中。「極秘プロジェクトは…」「予算がね…」「10回目は…」と何やら密談の様子 B. SPINNSのロゴは知っているも、この人の顔を知っている人は少ないに違いない。このお方こそ、社長・出路雅明、その人である C. 「もはや真夏の風物詩」と語るのはMETROの上階、etwの店長・松下氏。とにかく下とは違って空気がゆるい。「ビールで体冷やしましょ」 D. 沖縄出身ボーカルjimamaの宮平照美さんとアルバムジャケットも手掛けるイラストレーター・川村淳平氏。「わがまま言っただけで作ってもらった」と宮平さん。川村氏のアートワークにぞっこん E. 多彩な音楽性を持つ明星嘉男氏。汗だく、ライブ後にコメントを…。「真っ白ですわ」。Tコレは黒いが、ジョーの如く燃え尽きた様子 F. キーボードボーカルバンド、Chicago Poodleをライブ後にキャッチ。「ライブ中にね、僕らのTシャツのロゴが光るねん、感動した〜！」 G. ハルさん(右)、ユカさんはともに小学校の教員。「アーティストにね、教育実習時の生徒がいたような、いなかったような…」 H. 「えーっ、Tコレ着たらタダになんの〜?!」と知らずに来てたエリコさん(右)とショウコさん、今回ライブのみで参加の9 space marketの大ファン。あなたたち、Tコレよりもバンド目当てで来ましたね? I. スカポンタスのTコレをデザインしたyukinkoさんと、同僚?カップル?のヨシヒロさん。「私のTシャツ着ている人がいっぱいいる〜(涙)」 J. ドイツから上洛、植木屋で働くドミニク氏(左)と同じく植木屋のカトウ氏。すでに同イベントは2回目だとか。「熱くて水ガノミタイヨお」

